

ネコのミヌース (2001)

MINOES

メディア 映画
ジャンル コメディ ファンタジー ファミリー
製作国 オランダ
色彩 Color
時間 83分
初公開日 2004/03/27
公開情報 I M A G I C Aエンタテインメント=オンリー・ハーツ=ピーディディ

【キャッチコピー】
これは世界で一番シアワセな猫のお話です

【解説】
本国オランダで大ヒットを記録したファンタジック・コメディ。原作はオランダを代表する女性児童文学者アニー・M・G・シュミットによる同名小説。人間の女の子に変身してしまった猫が、気弱でまともな取材ができない青年記者の助手となり、仲間の猫たちの情報網を使って彼を手助けする大活躍を見せる。ヒロインは本作で数々の女優賞を獲得したカリス・ファン・ハウテン。監督はこれが日本初紹介となるフィンセント・バル。
引っ込み思案の冴えない新聞記者ティベ。彼はある日、ミヌースと名乗る女性と出会う。部屋の窓から突然入り込んできた彼女は、オシャレで礼儀正しかったが、どこことなくしぐさにヘンなところがあった。そんなミヌースの正体は猫。ある時、突然人間の姿に変わってしまったのだった。そんなこととはつゆ知らず彼女を追い返そうとするティベに対し、彼女は街中にいる猫仲間のネットワークを駆使したスクープ情報を提供。これが功を奏してミヌースは彼の住み込み秘書となる。やがてティベは、次々に特ダネを手に入れていくのだが…。

【クレジット】
監督 フィンセント・バル
製作 バーニー・ボス Burny Bos
原作 アニー・M・G・シュミット Annie M.G. Schmidt 『ネコのミヌース』
脚本 フィンセント・バル (徳間書店刊)
バーニー・ボス Burny Bos
タマラ・ボス Tamara Bos
撮影 ウォルター・ヴァン・デン・エンデ Walther van den Ende
音楽 ピーター・ヴェルマーシュ Peter Vermeersch
出演 カリス・ファン・ハウテン Carice van Houten ミヌース
テオ・マーセン Theo Maassen ティベ
サラ・バンニール Sarah Bannier ビビ
ハンス・ケスティング Hans Kesting ハリー
ピエール・ボクマ Pierre Bokma エレメート